

# 先進地視察調査報告

## 先進事例を視察・研修

民政クラブ

真の議会改革とは何か？

民政クラブ6人は、10月20日から22日にわたり、長崎県諫早市議会を視察し、全国市議会議長会研



諫早市役所にて

究フォーラムin大分に参加しました。

長崎県諫早市では「行財政改革検証特別委員会」について、議員と話し合いを行い、その後に潮受堤防の視察、状況説明を受けました。

研究フォーラム会場の大分県立総合文化センターでは、2400人も全国の議員が参加し、「議員定数の削減論」、「議会の在り方」等について、有意義な議論がされた2日間の研究会でした。

公明党

ソニー太陽株と研究フォーラム

公明党市議団3人は、10月19日から21日にわたり、ソニー太陽株式会社を視察し、全国市議会議長会研究フォーラムin大分に参加しました。

ソニー太陽株式会社は、約180人中122人が障がい者であるにも関わらず、ここでしか作れないマイクロフォンがあるなど、障がい者でも納税者という取り組みを進めており、インクルージョンという考えを学びました。

研究フォーラムは、全国市議会議長会主催で、地域主権の流れと議会の在り方など議員にとって身近な課題を学びました。



ソニー太陽株式会社 佐藤部長さんと

いずみ会

地方議院内閣制シンポジウム参加



シンポジウム会場にて

10月2日、横浜市パシフィコ会議センターで実施の地方議院内閣制のシンポジウムに参加しました。

政府の地域主権戦略会議等で、地方政府形態選択制の議論が始まり、現行二元代表制の課題是正に、地方議院内閣制が提起されました。基調講演に大塚耕平前内閣副大臣、石田芳弘衆議院議員、パネラーに後房雄名古屋大学大学院教授、萩原隆宏横浜市議等で議論されました。

今後、地方政府形態の検討において、現行二元代表制を改善する方法と地方議院内閣制等新制度採用の検討が深まると思われました。

民主党

自治体財務諸表改革と議員の役割

11月24日、地方議員のための政策アップ講座に参加しました。

地方財政の危機が叫ばれて久しいです。いまだ多くの自治体では、公共施設や道路、上下水道やごみ焼却炉などの老朽化したインフラの補修計画を適正に予算計上でできていません。そこで対策としては固定資産台帳整備と維持管理・補修費の見える化など公会計導入を積極的に推進するとともに、課題を共有し適正にチェックできる議会の機能発揮が求められています。

今回、会派政策研修の場として本講座を選びました。今後、鶴ヶ島市の施設管理改善に役立てます。



講座の受講風景

崎子 宮弘

研修会「コミュニティ交通」に参加

本市では、平成22年2月より、市民バスと乗合タクシーによる市内公共交通の実証運行を行っています。その見直しの最中、10月8日、地域科学研究会による地域公共交通の仕組みと方策をテーマとする研修会に参加しました。

地域公共交通持続の要は、利用者のニーズ・動向の把握、利便性の向上、潜在需要の開発、専門家による十分な調査・分析にあることが力説されました。

畑司 漆和

第72回全国都市問題会議に参加

10月7、8日に神戸市で開催の第72回全国都市問題会議に参加しました。

テーマは都市の危機管理で、阪神・淡路大震災の教訓、桜島の防災対策、岩手・宮城内陸地震への対応と復興、愛知県岡崎市の局地的な集中豪雨での災害応急等について、それぞれの市長から緊急対応の状況、また復旧状況や被災者への支援体制等が解説され、自然災害への取り組みの必要性を学びました。